



立教大学公開シンポジウム

# インバウンド新時代 課題と展望

主催 立教大学観光ADRセンター

共催 立教大学法務研究科

立教大学観光研究所

2015年の訪日外国人旅行者数は、過去最高の1974万人に達し、  
政府は、さらに、その目標値を、2020年に4000万人、  
2030年に6000万人と拡大しました。

しかし、このインバウンド急増の裏で、中国人訪日観光ツアーの爆買いや無資格ガイド、  
営業許可を受けない民泊による近隣トラブル等の問題が  
クローズアップされてきています。

本セミナーでは、これらの問題の実態を見据え、  
我が国の観光のあるべき姿を探っていこうと思います。

企画 川添 利賢（弁護士・立教大学法務研究科特任教授）

畑 敬（弁護士・立教大学兼任講師）

2016年8月25日（木）15:00～18:00

立教大学池袋キャンパス マキムホール M301 教室（3階）

(1)インバウンド新時代—問題提起—

橋本 俊哉(立教大学観光学部教授)

(2)訪日中国人観光客の動向

立教大学観光学部東ゼミ：学生レポート

(3)インバウンドにおけるランドオペレーターの機能と規制に関する諸問題

小池 修司(弁護士・立教大学兼任講師)

(4)インバウンド急増にともなう民泊問題

薬師丸 正二郎(立教大学法学部特任准教授)

(5)観光立国への課題

東 徹(立教大学観光学部教授・観光研究所長)

申込み不要  
入場無料

問合せ先：立教大学観光ADRセンター TEL 03-3985-4650